

5人の弦楽器奏者が
紡ぐ調べ

STREICH QUINTETT KONZERT



宮下琳太郎
(ヴァイオリン)



奈良原裕子
(ヴァイオリン)



山本成
(ヴィオラ)



澤田香萌
(ヴィオラ)



安井総太郎
(チェロ)

弦楽五重奏コンサート

2023 8.19 [土]

開場 18:30 / 開演 19:00

中板橋 マリーコンツェルト

[全席自由] 3500円

[チケット取り扱い]

<https://teket.jp/6923/24074>



PROGRAMM

モーツァルト

弦楽五重奏曲第4番 ト短調 KV516
MOZART: STREICHQUINTETT NR.4 G-MOLL KV 516

ブラームス

弦楽五重奏曲第2番 ト長調 Op.111
BRAHMS: STREICHQUINTETT NR.2 G-DUR OP. 111

[お問い合わせ]

y.naru0601.va.pc@gmail.com

[後援]

(NPO法人)千葉市音楽協会
神田女学園竹水会

PROFILE



宮下琳太郎 (ヴァイオリン)

桐朋学園大学音楽学部を卒業後、現在は東北大学医学部医学科で医学を学ぶ。桐朋学園大学の在学中にはヴァイオリン、指揮、室内楽を学ぶ。

ヴァイオリンでは、全日本学生音楽コンクール東京大会入選、宮城県芸術協会音楽コンクール宮城県知事賞などを受賞し、最近『実験会』や『Edvard Griegヴァイオリンソナタ全曲演奏会』、宮城県立美術館公演『暁鐘』など、趣向を凝らした音楽会を企画している。指揮では、Fukushima Youth Sinfoniettaと福島、東京、ボストン、バンコクで、Kolkata Youth Orchestraとコルカタで公演を行う。社会貢献活動にも積極的に取り組み、南相馬市より感謝状を贈られる。クラウドファンディングで資金を得て、医療関連施設で訪問演奏を行う「きょうゆうプロジェクト」を立ち上げる。プロジェクトでは、社会で音楽を実践し、こころを支える音楽を届けることを目指し、音楽と医学の両方の知識を活かした音楽会の企画・制作を行う。<https://rintaromiyashita.com/>



奈良原裕子 (ヴァイオリン)

桐朋学園大学を経て、ボストン音楽院に奨学金を取得し入学。2020年5月に卒業。これまでに、東京ジュニアオーケストラソサエティ、ボストン音楽院のオーケストラ演奏会にてコンサートミストレスを務める。また、成績優秀者による桐朋学園室内楽演奏会、Millennial Chamber Music Recital in Boston に出演。田中千香士音楽祭、北九州国際音楽祭などの国内の音楽祭にオーケストラメンバーとして出演。秩父国際音楽祭ではソリストとしてフェスティバルオーケストラと共演。日本クラシック音楽コンクール、デザインK音楽コンクール等で奨励賞を受賞。Naoya Iwaki Pops Orchestra (NIP0)のメンバーとしてBlue Note Tokyo で演奏。現在、プロオーケストラやスタジオレコーディング等で幅広く演奏活動をしている他、自身の音楽教室を立ち上げ後進の指導も精力的に行っている。<http://www.narahara-violin-studio.com>



山本成 (ヴィオラ)

10歳よりヴァイオリン、18歳よりヴィオラを始める。京都市立京都堀川音楽高等学校、桐朋学園大学音楽学部卒業後に渡独、デトモルト音楽大学を修了。在学中ゲッティンゲン交響楽団に研修生として2年間所属。現在はフランクフルト音楽大学古楽器科に在籍する傍ら、メイン・バロックオーケストラ・フランクフルト、ノイマイヤー・コンサート、フライブルク・バロックオーケストラ等の古楽器オーケストラのコンサートやツアー、CD録音に参加し、ラインガウ音楽祭、アンスバッハ・バッハ週間等の音楽祭にも参加している。ヴィオラスペース大阪、ヴィオラスペース東京、今井信子ヴィオラマスタークラスin小樽に受講生として参加。彩の国さいたま芸術劇場今井信子リサイタル『次代へ伝えたい名曲』にヴィオラカルテットで共演。これまでにヴァイオリンを田淵洋子、ヴィオラを佐々木亮、ファイト・ヘルテンシュタインに師事。現在フランクフルト音楽大学にてベトラ・ミュレヤンス、ヴェルナー・ザラーの各氏に師事する。



澤田香萌 (ヴィオラ)

4歳よりヴァイオリンを、18歳よりヴィオラをはじめる。第10回千葉県管弦打楽器コンペティション最優秀賞、第16回千葉市芸術文化新人賞奨励賞など受賞多数。ジュリアード音楽院教授ルイス・カブラン氏のマスタークラスを以て「音楽的な発想に富み、素晴らしい音感に恵まれている」との講評を得る。世界遺産エウフラシウス聖堂やカーネギーヴァイエルリサイタルホールでの演奏会、ヴィオラスペース2016に出演。桐朋学園大学を経て同大学院大学修了。これまでにヴァイオリンを茂木佳子、藤原浜雄、川久保賜紀各氏に、室内楽を磯村和英、鈴木康浩、銅銀久弥各氏に師事し、現在ヴィオラを須田祥子氏のもと学ぶ。ソロ、室内楽、オーケストラなど幅広い演奏活動を行う傍ら、ユースオーケストラの指導など、後進の育成にもあたる。



安井総太郎 (チェロ)

千葉県立東葛飾高等学校卒業。桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。チェロを崎野敏明氏、毛利伯郎氏に師事。

2019年6月に「Quartetto Musica sonare Cello Quartetto」に於いて千葉、栃木、山梨、東京公演に出演。ピアニスト中谷友美、齋藤亜都沙、父であるピアニスト安井耕一との共演で、札幌、東京などでリサイタルを行うほか、2021年には、高辻瑠子、安井耕一とのピアノトリオで演奏会を行った（つくば、札幌、東京）。チェロアンサンブルや弦楽四重奏、ピアノ三重奏などさまざまな編成の室内楽に取り組み、うしく音楽家協会主催の演奏会や、子ども達とのアンサンブル等の地域の音楽活動にも積極的に参加している。

交通アクセス

〒173-0016

東京都板橋区中板橋18-11

■電車

東武東上線中板橋駅北口 徒歩3分

都営三田線板橋本町駅A3出口 徒歩13分

■バス

中板橋駅入口バス停 徒歩5分

・関東バス・国際興業バス 赤31

・国際興業バス 赤31-2

・都営バス 王78

※専用駐車場はございません

